

## 入選

### 親切にすること

福岡県 簗島小学校

2年 木下実南

人に親切にすることは、すごくゆう気のいることです。でも、ゆう気を出してした親切は、人をたすけ、よろこんでもらえます。わたしはまだ小学2年生ですが、そのことを知っています。なぜかという、わたしは体けんをしたことがあるからです。

わたしのすんでいる市には、「今川」という川があります。川土手には、さくらの木や花がうえてあります。サイクリングロードもあります。今川のさくらがさくと、とてもきれいです。

今年の3月の晴れた日、わたしは、児童クラブにむかえにきてくれたお母さんと、今川のさくらの木の下でおやつを食べました。わたしは、走ることが大好きです。わたしは、サイクリングロードを走りたくて、お母さんと遠くまで行かない、くらくなる前にもどって来るとやくそくをして走り出しました。

わたしは、きれいな花や川でおよぐ鳥たちを見ながら走るのが楽しくて、お母さんとのやくそくをわすれてしまいました。空が少し、くらくなくなっていました。でも、まだ見えるからだいじょうぶと思い、土手にさく花をとったりして、あそびはじめてしまいました。

わたしがあそんでいると、知らないお姉さんが声をかけてくれました。

「もうくらくなるよ。あぶないよ。大人の人と来ているの？ちかくにいるの？」

お姉さんは、わたしのことを心ばいしてくれました。だいじょうぶと思っていたけれど、わたしはお姉さんといっしょに、お母さんのところにもどることにしました。

お姉さんとあるいていると、あたりがくらくなくなってきました。お姉さんはやさしくて、いろいろな話をしながらあるいてくれました。たくさんあるいて行くと、くらくなったサイクリングロードに、お母さんが立っていました。そして、わたしを見つけて走ってきました。すごく心ばいをしていました。お母さんは家に、「いっしょにさがして」とでんわをしていました。

お母さんは、お姉さんになんどもかんしゃの気持ちをつたえていました。お姉さんは、

「ゆうかいとまちがえられることが本当にこわかったけれど、心ばいでほっておけなくて、ゆう気を出して声をかけました。おやくに立ててよかったです。」と言っていました。

2日後、お母さんとお姉さんに会いに行き、きちんとありがとうの気持ちをつたえました。あの日、お姉さんに声をかけてもらわなかったら、わたしはくらくなったことに気づいてから、

「どうしていたかな？1人でお母さんのところに帰れたかな？」

そうぞうしてみるとこわくなりました。そして、お姉さんにありがとうの気持ちでいっぱいになりました。

わたしの通っている小学校は小さいです。1年生から6年生まで、みんな名前を知っています。わたしも、こまっている友だちに声をかけられる、やさしい上きゆう生になっていきたいです。